

(1) 水俣型公害問題

- 「メチル水銀を含んだ廃水は、1932(昭和7)年から1968(昭和43)年までの36年間、無処理のまま流された(廃水には、水銀以外にセレン、タリウム、マンガン等の有毒な重金属や化学物質も含まれていた)。排水中の水銀は400~600トンにもおよび、**不知火海沿岸で魚介類を食べ続けた人々に発生した大規模な有機水銀中毒事件**」。
- 規模としては、1996年の政府解決策の対象者が10,353人

